

第5学年 道徳科「異性への理解の深まり」「言葉のおくりもの」「B(10)友情、信頼」

考えを聴き合いつなげることで、自己を見つめる力を育てる

杉田小学校 阿部 真佐子

I 単元構成の工夫

本単元は、学級活動や日常生活の中で見られる友達との関わり方について、自己を見つめ考える活動が中心である。異性を気にせず誰にでも優しく接したり、遠く離れていても信頼し合ったりする登場人物の姿を通して、男女仲よく協力するよさや信頼し合うことの大切さを学ぶことをねらっている。また、学んだことを生かす場として、宿泊学習や集会活動を位置付ける。そこで、「信頼関係とは何か」についてもう一度自己の考えを見つめ直し、自分と友達の意見をつなげながら話し合うことで、いろいろな考えに気付き、自分を振り返ることができるようにしたい。

児童の実態

本学級の児童は、5年生になって初めて2クラスに分かれたこともあり、自然とみんなで外で遊ぶ姿が多く見られる。しかし、固定化された友達関係での安心感で生活している児童や、自分の思いを中心に発言し、相手の気持ちを考えない言動も見られる。また、学習においては、自分の意見を伝えることに恥ずかしさから消極的な児童の姿も見られる。

単元を通して育成したい子どもの姿

ワークシートの活用や形態を工夫した話し合い活動を通して、自己を見つめ振り返ることで、異性のよさを理解し、関わっていきこうとする姿

「単元構成の工夫」における ○成果と●課題

- 係決めでスムーズに決められなかった実態とアンケートの結果を踏まえたことで、自分事として課題をとらえることができた。
- 宿泊学習や学級集会などで、みんなが楽しめる計画をしたり、男女関係なく話し合い、助け合って活動したりする姿が見られた。
- 互いのよさを認め信頼関係を高めるために、宿泊学習で見られた姿をもとに、道徳で自己を見つめる場を設定した方がよいと感じた。

学習計画（総時数 8時間）

時	場面	学習活動（夢中になって学んでいる姿）	資質・能力
1	考える 対話する	学級活動「係を決めよう」 学級がよりよくなるための活動内容について考えている。	自主的に工夫して活動できる内容を考えることができる。
2 (本時)	考える 対話する	道徳「言葉のおくりもの」 登場人物の心情の変化に着目して話し合い、異性とのよい関わり方を考えている。	相手のよさを理解し、男女関係なく友情を深める大切さに気付くことができる。
3	考える 対話する	道徳「友のしょう像画」 相手を思う行動について話し合い、友情を深めていくために大切なことを考えている。	互いに、信頼し合うことの大切さに気付くことができる。
4 6	対話する 習得する	総合的な学習の時間「宿泊学習」 班ごとに役割を決めたり、めあてや約束を話し合ったりする。また、班のマークを考えたり、班旗を作る。	互いを思いやり、ともに協力し合い、支え合うことができる。
7 8	考える 習得する	学級活動「集会を開こう」 友情を深めるために、みんなで楽しめる集会を計画し、活動している。	全員が楽しめるルールや内容を考え、実行することができる。

II コーディネートの工夫

<本時のねらい> 異性との関わり方について考えることを通して、児童一人一人が男女関係なく異性のよさを理解し、互いに信頼し合いながらよい人間関係を築いていこうとする心情を育てる。

	学習活動・内容 (T主な発問C児童の反応)	<コーディネートの実際>	<コーディネートの改善>
課題設定	<p>1 アンケートの結果や教材の挿絵を基に、学習課題を設定する T：冷やかされるとどんな気持ちになりますか。 C：恥ずかしい。嫌になる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">男女の友情を深めるために大切なことは何だろう。</div>	<p>2 「言葉のおくりもの」を読んで考え、話し合う。 T：休み時間、一郎とすみ子とたかしの関係はどうなっていましたか。 C：たかしは、からかっている。 C：一郎は、冷やかされて嫌な気持ち。 C：すみ子は気にしていない。 T：日直の時は、一郎とすみ子の関係はどうなっていましたか。 C：けんかしたみたいになっていた。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">資料の内容を確認し、場面毎に登場人物の関係性をとらえることに時間をかけ過ぎてしまったため、後半の中心発問を考える時間が短くなってしまった。</div>	<p>2 「言葉のおくりもの」を読んで考え、話し合う。 登場人物の顔や挿絵を提示するとともに、3人の関係性をとらえながら範読し、思考の焦点化を図って話し合わせる。</p> <p>T：すみ子の「言葉のおくりもの」を聞いて、一斉に拍手をしたみんなや、一郎に握手を求めに行ったたかしは、どんなことを思ったでしょう。 C：みんなで仲良くしたいな。 T：まず、自分の考えをワークシートに書いてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">ワークシートに書いてから話し合わせることで、それぞれの心情の変化をとらえやすくする。</div>
課題解決	<p>2 「言葉のおくりもの」を読んで考え、話し合う。 T：算数の時間、日直、運動会の場面で、3人の関係はどうなっているでしょう。 C：たかしは、一郎たちをからかっている。 C：一郎は、からかわれたくないと思っている。 C：すみ子は、たか시를励ましている。</p> <p>T：一瞬教室がしんと静まり返ったとき、クラスのみんなや一郎はどんな事を考えていたでしょう。 C：すみ子は、何を言うのかな。</p> <p>T：すみ子が読み終わったとき、一斉に拍手をしたみんなやたかしは、どんなことを考えていたでしょう。 C：すみ子の言うとおりに、楽しいクラスにしたい。 C：からかって悪かったな。</p> <p>T：男女が仲よく助け合うために、大切なことは何でしょう。 C：相手のいいところを見つける。</p>	<p>T：すみ子が手紙を読み終えたとき、拍手をしたみんなはどんなことを考えていたでしょう。 C：ありがとうという、いい言葉があったから拍手したと思う。</p> <p>T：男女が仲良く助け合うために大切なことは何でしょう。グループで話し合っ て発表ボードに書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">グループ内で話し合う時間が十分に確保できず、各自考えたことを書き出すことにとどまった。</div>	<p>T：男女が仲良く、力を合わせるって具体的にはどういうことかな。 T：まず、自分の考えをワークシートに書いてから、グループで話し合っ て、発表ボードに書きましょう。 T：どうしてそう思ったの。 T：〇〇さんが言ったことは、どういうことか分かる。 C：〇〇さんと似ていて、算数で困っているときとかに声をかけて、一緒に解決していききたいです。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の考えの理由を明確にさせ、友達の考えを共有することで、考えが深められるようにする。</div> <p>T：グループでどんな話し合いがされたのか、みんなに伝えましょう。</p>
振り返り	<p>3 自他の学びを共有し、見つめ直す。 T：今日の学習で考えたこと、今後に生かしたいことを書きましょう。 C：男女関係なく、恥ずかしがらないで、相手のことを考えて声をかけたり、協力したりしていきたい。</p>	<p>「コーディネートの工夫」における ○成果と●課題</p> <p>○ アンケートの結果や子どもの経験話から、身近な出来事としてとらえ、自分事として意識する姿が見られた。</p> <p>● 考えさせる場を焦点化して発問を吟味し、自分の考えを書く時間や話し合う時間を十分に確保したり、発言をつないだりすることで、自分事として考えが深まると思われる。</p>	